

平成 24 年 1 月 4 日

各 位

株式会社山口フィナンシャルグループ
株式会社常陽銀行
株式会社百十四銀行
株式会社十六銀行
株式会社南都銀行
株式会社三菱東京 UFJ 銀行
日本アイ・ビー・エム株式会社

もみじ銀行における『Chance 地銀共同化システム』の稼働について

株式会社山口フィナンシャルグループ（社長 福田 浩一）、株式会社常陽銀行（頭取 寺門 一義）、株式会社百十四銀行（頭取 渡邊 智樹）、株式会社十六銀行（頭取 堀江 博海）、株式会社南都銀行（頭取 植野 康夫）、（以下「参加金融機関」）と、株式会社三菱東京UFJ 銀行（頭取 永易 克典）および日本アイ・ビー・エム株式会社（社長 橋本 孝之、以下「日本IBM」）が共同で運営する『Chance地銀共同化システム』が、本日 山口フィナンシャルグループ傘下の株式会社もみじ銀行（頭取 野坂 文雄）にて予定通り稼働しました。

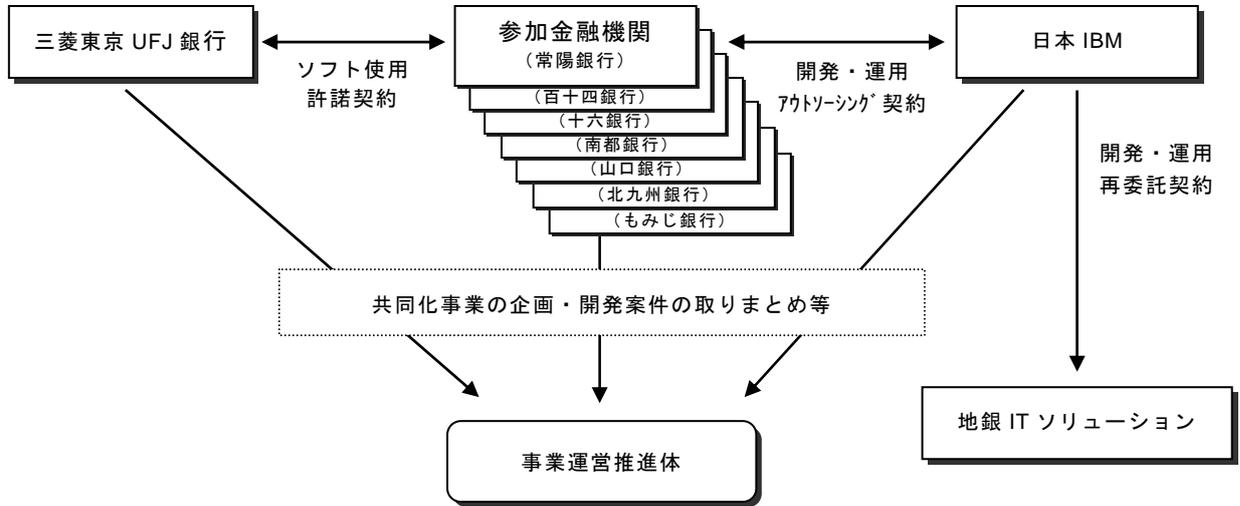
1. 『Chance 地銀共同化システム』のスキーム概要

- (1) 『Chance 地銀共同化システム』は、三菱東京 UFJ 銀行の現行システムを基に、参加金融機関の共通ニーズと個別ニーズを反映させて構築したものです。メガバンクのシステムを基とした地方銀行のシステム共同化形態は国内唯一であり、参加金融機関は、三菱東京 UFJ 銀行が開発した先進的な業務ソフトウェアの継続的提供などにより、業務・制度・技術面での将来の IT 対応力を確保してまいります。
- (2) 参加金融機関は、日本 IBM に開発・保守・運用を委託し、コンピュータを同社のセンターに集約すること、開発・運用要員を同社の子会社として設立した株式会社地銀 IT ソリューションに集約することなどにより、システム経費の削減を図ってまいります。

2. その他

今回のもみじ銀行の稼働にて、『Chance 地銀共同化システム』は、参加 7 行の移行を完了しました。引き続き、『Chance 地銀共同化システム』を活用して、三菱東京 UFJ 銀行の先進的システムの適用や、共同化範囲の拡大による経済効果の向上を図り、共同化事業のさらなる発展に注力してまいります。その一環として、平成 23 年 8 月に、クラウド技術を利用した参加行共同利用型の「Chance クラウド」の運用を開始し、現在、この環境で稼働する「電子記録債権システム」を開発中です。

【Chance 地銀共同化システムの運営スキーム】



以上